

( 令和5 ) 年度 児童館事業年間活動報告書 ( 城南 ) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数								内 容	成 果 と 課 題						
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生				大学生	大人			
基 本 子 ど も 育 成 機 能	(2)遊びの教室活動																	
	(3)行事活動																	
	・おはなしタイム	25回		4	223	1	42		6				8	284	職員や小学生・高校生による読み聞かせ			
	・お楽しみあそび	1回			15	4	6							25	学童クラブの3年生以上が企画し、児童館に在る全員で一つの遊びに取り組むルールの共通理解	一つの遊びに取り組むことで楽しみ共に協調性と達成感を味わう		
	・児童館ルール説明会	1回			13		3							16	小学生の利用者を対象に、学童3年生以上が各場所での留意点を説明する。			
	・七夕ウィーク	5回		2	4		1			2				9	笹の葉に飾る短冊を書いたり、思い思いに飾りを作り、室内を飾りつける。	季節を感じられる行事を知る。		
	・エコ活動	12回		8	99	5	17							154	エコとは何かを知る	エコについて、遊びや作などを交えながら理解を深めている		
	・エコ工作	3回		2	6	2	1							1	廃材を使ったカバン作りに取り組んだ。	エコについて、工作をしながら理解を深めている		
	・お楽しみフェスタ会議・準備	4回		4	16		7							12		夏休みの長い期間で各自準備を進めていた。進捗状況を把握するために表示するべきを検討する。		
	・お楽しみフェスタ	9回	1	6	88	10	18	4	1					141	3年生以上(学童クラブ含)の児童が遊びのコーナーを奪い、お祭り「お楽しみウィーク」を企画運営する	参加する子どもたちも楽しんでいった。		
	・帽子作り	5回		2	14		1							17	帽子忘れ対策として取組化した。	身近な物で帽子作りができる発見があった。参加者はオリジナルの帽子を日々活用していた。		
	・まなべル	145回		36	1314		110		1					241	大学生の学習支援	まなべルの効果で学習へ取り組む児童の姿が増えた。		
	・伏見子どもまつり	1回		3	8		2							3	緑蔭神社にて開催。引率参加。高学年がスタッフ活動に参加。			
	・避難訓練	11回	6	12	138		21			6				4	緊急時にどのように動けば良いかを日頃から訓練する	訓練ではあるが、しっかりと取り組めるようになってきた。		
	・アイロンビーズ	9回		2	41	1	10							5	アイロンビーズを作成	細かい作業が苦手な児童が多いので、今後も継続して取り組んでいきたい。		
	・駄菓子屋さん	1回	6	5	2	1	0		2					2	学童クラブ対象に地域の駄菓子屋へ買い物体験を行った。	子どもたちの会話の中から地域の駄菓子屋の店名があり、今回は学童対象にして、実際に買い物へ行ったことで繋がれる機会となった。		
	・夏の工作	4回	1	5	22	1	5		2					2	身近にある材料でマドーム作りに取り組んだ。	幼児親子から小学生まで多くの参加者が見られた。児童の中でも広範囲が参加し、意欲的な活動となった。		
	・ゆるキャラコンテスト	2回			14		2		4					2	自らのマスコットキャラクターを子どもたちから募り、後にキャラクター投票を行い決定した。	子どもたちの発想力豊かな絵やキャラクター名があり、見応えがあった。賞状に参加する子どもたちも多かった。		
	・遊びの大会(ドンジャラ・オセロ・マンカラ)	3回		5	68	5	4							82	職員から企画を始めていく中で、子どもたちの意欲が芽生えさきかけに繋げる。	機会を取組むことで、徐々に子どもたちからも「企画をしてみたい」と声が上がった。準備から進行まで取組んだ。		
	・ひかりの実アートプロジェクト	2回			22	3	5							1	外部団体募集に参加し、希望者でアート制作に取り組んだ。	絵はアートに馴染みがあり、取組むのが楽しかった。今後も外部団体企画にも子どもたちの要望次第で参加していく。		
	・ひらめき☆こども企画	8回		1	22		2							1	本年より発足。発案した企画を子どもたちが準備から進行に至るまで取組む。	遊びの工作、発表など、様々な企画を準備を進めてきた。発案した子どもも自主的に取組むようになった。		
	・いも掘り	1回	3	3	6	1	2			1				3	学童クラブ児童で、地域の芋畑に芋ほりへ行く。	収穫の秋に、収穫する楽しさを感じられた。地域の方々の協力もあり、満足いくものが掘れた。		
	・大掃除	2回			28	1	6							7	年末の大掃除という昔からの取り組みを児童館でも実施。	エコな大掃除ということで、新聞紙を使って行ったので、子どもたちも興味をもって取り組んでいた。		
	・ハロウィンウィーク	8回		5	20		4							29	ハロウィンの絵画をバックに、みんな写真撮ったり、折り紙工作をする。	近中イベント化している行事なので、楽しんで参加していた。		
	・クリスマスウィーク	3回		10	38	9	6	1						4	3年生以上の子ども達が、ゲームコーナーを企画運営して楽しむ。キッズダンスクラブの発表。地域の民生児童委員はサンタにもなり、皆にプレゼントを配っていた。	本年度はクリスマス週間とした。子ども企画の遊びコーナー準備は日中実施児童も楽しんでいると報告があった。		
	・カレンダー作り	4回		10	1	1								3	希望者を集い、オリジナルカレンダーを作る。	干支の装飾をして、賑やかなカレンダーが完成した。		
	・お正月遊び週間	6回		10	35	2	7	2						7	コマ、すごろく、羽子板などの正月行事	日本伝統文化に親しむ。		
	・伝統工芸体験	1回	1	5	9	4	2	1	3	1	3	2		31	伝統工芸である、らでん糊工でコースター作り体験をする。	参加対象を広げたことにより、乳幼児親子や小学生親子、高校生の参加があり、盛況だった。今後も継続していく。		
	(4)クラブ活動	158回																
	・けん玉検定	10回		4	45		12							1		検定合格を目指す参加者が増加。他行事にて発表する機会も増えた。今年度は実施場所を選び切り離して、育成室で集まって取り組んだ。		
	・ドッジボールクラブ	23回		15	154	6	26							9		年間を通じて技術向上に努める	キャッチボールや中あてで「転がしっく」など段階的に練習していくことで、投げ方やキャッチの仕方うまくなった。	
	・一輪車クラブ	13回		7	65											年間を通じて技術向上に努める	乗れるようになった子どもが増えて、目標にしやすくなったのが、チャレンジする子が劇的に増えた。	
	・なわとびクラブ	20回		9	62	2	9							2		年間を通じて技術向上に努める	大滝が人気で楽しんで参加していた	
	・切り絵クラブ	21回		1	37									1		年間を通じて技術向上に努める	10歳から図案を描き、作品を仕上げ、小学校でもクッターを使う機会が出てくる年齢は、それを機に思い出したかのように、チャレンジする姿が見られた。	
	・はかせクラブ	10回		9	52	8	11							8		年間を通じて科学的な現象を実践を通じて学び合う。	班を組むことに参加者が増えていき、科学的現象を身近に見ることができるようになった。	
	・こま検定	12回		2	32									1		年間を通じて行「技」の習得と努力を学習する	こまに対する苦手意識や水鉄砲というだけで参加者が集まらなかった。自由時間でも使用すると、練習に飽きず子どもたちが見られた。	
	・キッズダンスクラブ	49回		27	253	4	12							5		年間を通じて技術向上に努める	ダンスをする楽しさも自分たちで考え、練習も自分たちでメディアを出る機会を、仕上げていた。発表する機会もあり、音楽が日常に入っていることを実感できた。	
	合 計																	
	推 進 活 動	藤の木子どもキッチン	17回		45	184	67	30						36	123	485	地域の民生委員が実行委員となり、地域のボランティアの方と一緒に調理をし、みんなで一緒に食事をする参加無料の食育活動。焼きそばやバーベキュー、ベトナム料理など調理も行った。	地域の子ども達のコミュニケーションの場になっており、館外でも挨拶ができるようになってきている。調理活動の場には上級生が下級生のサポートにまわる姿が見られた。
		藤の木子どもキッチン音楽会	1回	1	1	7	1	3		3					2	演奏者の方を招き、音楽会を開催した。	ブルートとチェロの生演奏を奏でる中で、聴きなれた楽曲から耳馴染みの楽曲演奏があり、楽しい音楽会となった。	
地域子育て支援ステーション事業 中学生と赤ちゃんの交流事業		2回	3			1	3	3		3					13	中学生と赤ちゃんのふれ合い交流を通じて、健全育成を促し、子育てに関わる予備体験を行う。	長期にわたって、乳幼児親子の参加数が増えた。今後も乳幼児親子や中学生親子の参加を促す。高学年中学生になる児童もササキアップとして活動に繋がることで継続的な交流を促す。	
地域子育て支援ステーション事業 中学生と赤ちゃんの交流事業打合せ		3回						3									乳児さんが活動内で出来ることを想定しながら進めることで共通理解できた。	
わくわく科学教室		1回		5	8	2	2		2				7	2	文教大学の学生が企画した科学を使った楽しい実験をする。	身近なもので科学実験を行いとても楽しんでいた。		
食品ロス講座		1回		1	7		1							8	2	大学志による講座を通じて、食品ロスについて学び合う。	説明を聞いた後に振り返りクイズを行った。小学生には難しい内容だったが自分なりに考えて答えた。	
ネットトラブル講座		1回		7	1	1								5	3	大学生による講座を通じて、ネットトラブルについて学び合う。	大学生による講座を通じて、ネットトラブルについて学び合う。	
思い出遊苑		1回	1	16	4	4	2	1	2						30	足を運んで、小学生・中学生・地域の大人まで幅広い年齢層の交流を深める機会とする。	公共交通機関を使い、「京都動物園・岡崎公園」へ行き、共に過ごした思い出を思い出し出す機会となる。	
令和6年度学童クラブ登録申請説明会		随時								11					11	新年度登録家庭対象に向けた説明を随時実施。	人数が少ないので、個人的に説明できて、保護者も理解しやすかったようだ。	
合 計																		
子ども育成機能 合 計																		

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館の別別報告すること。

( 令和5 ) 年度 児童館事業年間活動報告書 ( 城南 ) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数							合計	内 容	成果と課題				
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人				ボランティア			
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						中学生	大学生	大人	
子ども	※ 乳幼児クラブ てくてくクラブ	23回	114						108					222	おおむね1歳のお子さんとその保護者を対象としたクラス。手遊び、工作、体操などを通じてお父さんとの関わり方の提案保護者同士の交流、連携を図る 遠足や消防署見学などの、屋外行事や大型行事をクラブで合同で取り組む 講師を招いて、生のピアノの音色と一緒に、絵本やボール遊びなどを楽しむ 講師を招いて、親子のふれあいを取り入れた運動や保護者の方のリラクゼーションの時間もプログラム内に組んでくださった。 児童館の遊戯室を開放し、乳幼児とその保護者に利用してもらう 必要に応じて職員が、育児相談等に応じる 成長記録の手形・足形を利用した作品を毎月作り、3月には成長記録の冊子が、1人1冊できるようにしている 西アフリカの伝統舞踊を、本場の太鼓演奏と共に踊る 伏見いきいき市民活動センターによる講師紹介冊子にて、企画につながった。ふうせんクラブにて実施。 遊戯室全体を写真館のように飾りつけ、保育者自身がカメラマンになって子どもたちを撮影する ハロウィンやおしゃれでかわいい雰囲気のある装飾も楽しんだ。	母親同士の交流から子育てで不安の軽減につながる また先輩お母さんとの子育てで談議から安心感を得られる 他人の子どもと比べてしまう母親への関わり方や気になる子どもの対応は職員の共通理解が必須 好評なので、内容を充実させて、今後も続けていきたい 素晴らしい参加者に好評なので、今後も続けていきたい 参加者の反応は上々だった。継続していきたいが講師の方との都合合わせが難しい。実施曜日で交渉できる講師の方で要検討。 好評なので、今後も内容を充実して続けていきたい
	ぐんぐん・てくてく 合同クラブ	5回	30						30		1	61				
	リトミック	10回	55						51			106				
	親子ピクス	2回	10						10			20				
	ちびっこ広場	90回	49						39			88				
	ふうせんクラブ	35回	127						122			249				
	アフリカダンス	2回	11						12			23				
	リフレッシュ気功&ヨガ	1回	3						4		3	10				
	パパ・ママカメラマン	2回	12						12			24				
	こぐまちゃんクラブ	中止										0				
合 計																
家庭	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数			
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }				健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }					
		件数 計		-				-			-					
活動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容		成 果 と 課 題						
推進活動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容						成 果 と 課 題						
		消防署見学	1	消防署職員による京都市の消防の現状と、一般市民に出来る防火の講習 消防車、救急車の見学						消防の働きが、参加者に理解された。防火活動に取り組む意欲が向上した。						
		避難訓練	12	児童館が火災および、地震が起こった際の、避難訓練を実施した。						経路の確認と、職員の自覚向上。						

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合 計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
	(1) 地域住民との交流を促進する活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤ノ木こども見守り隊との連携随時</li> <li>学区民生児童委員協議会</li> <li>藤の木子どもキッチン</li> </ul>	随時  17回	藤ノ木学区防犯藤ノ木こども見守り隊  児童館 藤ノ木学区児童民生委員協議会		45	184	67	30	36	123	0 485 0 0	小学校 中学校  保育園 自治会 各関係機関団体  不審者、ひったくり等の頻発地域にあって、こども達の安全な暮らしに対しても敏感に反応する地域である防犯上、地域各種団体と密にネットワークを組むことは、有効な手段であり、児童館も地域を支える一翼を担っているといえる  提供する弁当のメニューを決めるところから、児童館と民生員が連絡を取り合い、連携をとって実施する。	
	合計			—										
福祉	本	活動内容	活 動 人 数				成 果 と 課 題							
			中学生	大学生	大人	合 計								
	(2) ボランティア活動の推進	わくわく科学教室  食品ロス講座  ネットトラブル講座					7	2	9	身近なもので科学実験を行いとても楽しんでいた。  説明を聞いた後に振り返りクイズを行った。小学生には難しい内容だったが自分なりに考えて答えていた。  説明を聞いた後にすぐろくを通じて振り返りをしたが、遊びに偏ってしまった為、内容が複雑だった。				
	合計			20	7	27								
機	動	連 携 団 体 等	連 携 内 容			成 果 と 課 題								
		各自治会長 藤の木社会福祉協議会 向島藤の木小学校 向島地区 小学校  幼稚園 保育園 伏見子供支援センター 保健所 各医療機関 療育センター 消防署 伏見警察 藤の木子供見守り隊	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域懇談会参加</li> <li>地域勉強会参加</li> <li>小学校生活化授業(地域を知る) 受け入れ</li> <li>伏見子供ネットワーク会議参加</li> <li>防犯活動協力</li> <li>みんなおいでいっしょにあそび企画会議</li> <li>向島東中学校区保幼小中連携協議会 (平成26年度より参加)</li> <li>藤の木子どもキッチンの共催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域諸団体との、情報、問題点の共有化と、それに対する共通認識を持つことが出来た</li> <li>お互いの協力体制が整った</li> <li>個々の住民レベルでの連携体制は難しい住民の入れ替わりが激しく、また連帯意識が特に希薄な地域だけに児童館活動への理解と協力をいかに高めるか課題である</li> <li>住民の入れ替わりが激しく、また連帯意識が特に希薄な地域だけに</li> <li>地域の現状をこまめに把握することによって子ども達が本当に必要援助はどういうものなのか、ニーズを知る手助けとなっている</li> <li>向島東中学校区内のすべての子ども達の成長と発達を考え、意見交換と情報共有の場となっている</li> <li>食の貧困ということが考えられる地域なので、子どもたちは楽しみ参加できたアレルギーにも対応しているので、継続していく</li> </ul>										

地 域 福 祉 促 進 機 能	基本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
			・藤ノ木こども見守り隊		・藤ノ木こども見守り隊		随時	児童館のみならず、地域のこども達の安全のために活動されている主な活動は、地域の見守り	地域柄、防犯に努めることは必須であるが、子供たちの安全確保となると児童館だけでは対応しきれないので、連携して頂くことで利用者側からも、安心して児童館が利用できる
	推進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題
能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題		
		各幼児クラブ開催前 アンケート調査	ニーズの把握 利用者の隠れた技能 発掘する	幼児クラブ参加保護者	児童館	アンケート	保護者が求めているものを事前を知ることで、よりよいクラブ活動ができる お母さん方の埋もれた才能を引き出すことで、お母さん方自身が輝ける場としていただけるようサポート できる		

( 令和5 ) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 城 南 ) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館便り (裏面にすくすくだより)	月一回	<ul style="list-style-type: none"><li>一般来館者</li><li>学童クラブ保護者</li><li>小学校</li><li>各自治会</li><li>子育て支援センター</li><li>幼児クラブ参加者</li><li>近隣の各家庭</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>配布</li><li>拡大版を玄関掲示板に張り出し</li><li>小学校担任へ配布 各教室に掲</li><li>子育て支援センターへ</li><li>メール送信</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>月の行事内容</li><li>児童館の取り組み紹介</li><li>子育て情報</li><li>留意点喚起</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>児童館の取り組みをより知ってもらえる</li><li>行事内容の確認をしてもらえる</li><li>地域に理解、協力を得やすくなる</li><li>学校の先生方に児童館の活動の内容を理解してもらえる</li></ul>
	ぐんぐんクラブ募集案内 てくてくクラブ募集案内 ふうせんクラブ募集案内	随時 随時	<ul style="list-style-type: none"><li>幼児クラブ参加希望者</li><li>地域の幼児の保護者</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ポスター</li><li>案内書の配布</li></ul>	幼児クラブ参加へのお誘い 活動内容解説	<ul style="list-style-type: none"><li>クラブの活動内容を広められた</li><li>児童館の事を知らない方に知ってもらえた</li><li>幼児クラブの活動を知らない方が案外多いので、広報活動によって更に広めていきたい</li></ul>
	すくすくだより	月一回	<ul style="list-style-type: none"><li>地域住民</li></ul>	各街区の掲示板、及び近隣住民に協力依頼をして掲示	<ul style="list-style-type: none"><li>乳幼児さん親子向けの活動内容の紹介</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ポスターを見て参加されることはまだ少ないようだが、継続は力なりで続けていく地域の方の自治会長とも連絡をとる機会を作る。</li></ul>